

平成二十四年

十月

いのち
生命の言葉

天も誠にて天たり 地も誠にて地なり

真木和泉

裏面もご覧ください。

十月
生命の言葉

天も天として、地も地としてきちんとある。同じように世の中にも人間にもあるべき姿があるという意。

『何傷録』

真木和泉 (まきいずみ)

一八三〇〜一八六四年。名は保臣(やすおみ)福岡県久留米水天宮の神官の家に生まれる。自らも神官となり国学、和歌を学ぶ。楠木正成を敬慕し、天皇を中心とした時代を理想とした。幕末の尊王攘夷を訴え活動するが、禁門の変で破れ自害する。

北からの白鳥が飛来するこの季節 皆さまに神のご加護がありますように

東京都神社庁

<http://www.tokyo-jinjacho.or.jp/>



遷宮で 結ぶ人の輪 心の輪
第六十二回神宮式年遷宮